NO.

003

環境 海洋プラスチックごみ

Out of Sight, Into the Sea

見えなくなったごみの行方——海洋プラスチック

英文の音声

レベル ★☆☆ 標準 | 299語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Imagine walking along a beautiful beach and discovering that the sand ❶**is full of** tiny colored pieces. They are not shells or stones but plastic. Every year, millions of tons of plastic waste enter the ocean, carried there by rivers and by careless human hands.

2 Plastic is useful because it is light, cheap, and strong. Unfortunately, these same qualities make it a serious problem in the sea. Plastic does not rot away like wood or paper. Instead, sunlight and waves slowly break it into smaller and smaller pieces. Pieces smaller than five millimeters are called microplastics, and once they spread through the water, they are almost impossible to ❷**clean up**.

3 Sea creatures suffer ❸**in particular**. Sea turtles sometimes swallow plastic bags ❹**by mistake**, because a floating bag looks very much like a jellyfish. Seabirds feed bits of plastic to their young. Scientists ❺**are concerned about** people, too, since microplastics have been found inside the fish and shellfish we eat. Whether they ❻**do damage to** human health is still being studied.

4 Why has the problem become so large? One reason is that once we throw something away, it is ❼**out of sight**, and so it is easily forgotten. Most people are not cruel; they simply ❽**are indifferent to** where their garbage ends up.

5 Change, however, is possible. In Japan, a rule requiring stores to charge for plastic bags ❾**came into effect** in 2020, and many shoppers now carry their own bags. Volunteers in many towns have ❿**set about** cleaning their beaches, and some companies now use materials made from plants, ⓫**such as** corn, instead of oil. Each of us can ⓬**separate plastic from** other garbage so that more of it can be recycled. ⓭**Even if** one person's actions seem small, millions of small actions together can make the oceans cleaner.

語注 **rot** 腐る・朽ちる **microplastic** マイクロプラスチック（5 mm 未満の微細なプラスチック）
swallow 飲み込む **jellyfish** クラゲ **recycle** リサイクルする・再利用する

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 be full of ~ ～でいっぱいである □□□

＝ be filled with ~。of と with の違いが狙われる。比喩的に be full of energy（元気いっぱい）、be full of mistakes（間違いだらけ）とも言う。 例 *The station was full of people going home.* 駅は帰宅する人でいっぱいだった。

2 clean up ~ ～をきれいに片付ける □□□

up は「すっかり・完全に」。clean だけより「隅々まで片付ける」感じ。名詞 cleanup（清掃活動）も環境の文で頻出。

例 *Let's clean up the classroom before we leave.* 帰る前に教室をきれいに片付けよう。

3 in particular 特に □□□

＝ particularly / especially。文頭・文中・名詞の後ろ（this book in particular）のどこにも置ける。anything in particular（特に何か）の形も会話に多い。 例 *I love sports, soccer in particular.* 私はスポーツ、特にサッカーが大好きだ。

4 by mistake 誤って □□□

＝ mistakenly / by accident に近い。「間違えて別の物を」という場面で使う。make a mistake（間違える）と形を区別。

例 *I took someone else's umbrella by mistake.* 誤って他人の傘を持ってきてしまった。

5 be concerned about ~ ～を心配している □□□

＝ be worried about ~。論説文では worried より concerned が好まれる。be concerned with ~ は「～に関係している」で意味が違うので注意。 例 *Many people are concerned about rising prices.* 多くの人が物価の上昇を心配している。

6 do damage to ~ ～に損害を与える □□□

＝ damage ~ / harm ~。damage は数えられない名詞なので a damage とは言わない。do serious damage to のように形容詞を入れて強める。 例 *The storm did a lot of damage to the crops.* その嵐は作物に大きな被害を与えた。

7 out of sight 見えない所に □□□

ことわざ Out of sight, out of mind.（去る者は日々に疎し／見えなくなれば忘れる）が有名。本文はこのことわざを下敷きにしている。 例 *The plane soon flew out of sight.* 飛行機はすぐに見えなくなった。

8 be indifferent to ~ ～に無関心である □□□

different（違う）ではなく indifferent（無関心な）。前置詞は to。名詞形 indifference も頻出。＝ have no interest in ~。

例 *Young people are often said to be indifferent to politics.* 若者は政治に無関心だとよく言われる。

9 come into effect （法律などが）発効する □□□

＝ take effect / go into effect。法律・規則・制度が実際に効力を持ち始める。主語は law・rule・system など。

例 *The new traffic law will come into effect next April.* 新しい交通法は来年 4 月に施行される。

10 set about ~ ～に取りかかる □□□

後ろは名詞か動名詞（set about cleaning）。＝ begin / start / get down to。set out to do（～しようと着手する）と形を区別。 例 *She set about writing her report as soon as she got home.* 彼女は帰宅するとすぐにレポートを書き始めた。

11 such as ~ 例えば～のような □□□

具体例を挙げる目印。A such as B ＝ such A as B。for example と違い、後ろに文ではなく名詞を置く。 例 *I like fruits such as apples and grapes.* 私はリンゴやブドウのような果物が好きだ。

12 separate A from B A を B から分ける □□□

from は「分離」。distinguish A from B（A と B を区別する）、tell A from B と同じ前置詞の発想でまとめて覚える。

例 *Please separate cans from bottles.* 缶と瓶を分けてください。

13 even if ~ たとえ～でも □□□

仮の話・まだ分からないこと（もし～だとしても）。even though は事実（実際～だけれども）。この違いが英作文・正誤問題で頻出。 例 *Even if it rains tomorrow, the game will be held.* たとえ明日雨が降っても、試合は行われる。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 ウミガメがポリ袋を飲み込んでしまう理由として本文に書かれているものはどれか。

① ポリ袋に魚の匂いがついているから
② 浮いているポリ袋がクラゲに似ているから
③ 海の中に食べ物がなくなったから
④ ポリ袋が柔らかくて食べやすいから

問2 第 4 段落によると、問題が大きくなった理由の一つは何か。

① 人々がわざと海にごみを捨てているから
② プラスチックの値段が上がったから
③ 捨てたごみは目に見えなくなり、人々が行き先に関心を持たないから
④ リサイクルの技術がまだ発明されていないから

問3 本文の内容と一致しないものはどれか。

① マイクロプラスチックは 5 ミリより小さいかけらのことである
② マイクロプラスチックは魚や貝の体内から見つかっている
③ 日本では 2020 年にレジ袋の有料化が始まった
④ マイクロプラスチックが人の健康に害を与えることはすでに証明されている

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 〜でいっぱいである
2 〜をきれいに片付ける
3 特に
4 誤って
5 〜を心配している
6 〜に損害を与える
7 見えない所に
8 〜に無関心である
9 （法律などが）発効する
10 〜に取りかかる
11 例えば〜のような
12 A を B から分ける
13 たとえ〜でも

背景知識 プラスチックは自然の中で分解されにくく、紫外線や波で細かく砕けて 5 mm 未満のマイクロプラスチックになる。海洋生物が誤って食べる被害が報告され、食物連鎖を通じた人への影響も研究されている。日本では 2020 年 7 月にレジ袋の有料化が全国で義務化された。入試では「便利さの裏の代償」「一人一人の行動」という流れの文章が多く、レジ袋・ストロー・リサイクルが具体例の定番。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 美しい砂浜を歩いていて、砂が色とりどりの小さなかけら**でいっぱい**なのに気づいたところを想像してほしい。それは貝殻でも石でもなく、プラスチックだ。毎年、何百万トンものプラスチックごみが、川や不注意な人間の手によって海へと運ばれている。

2 プラスチックが便利なのは、軽くて安くて丈夫だからだ。残念ながら、まさにその性質が、海では深刻な問題になる。プラスチックは木や紙のように朽ちて消えることがない。代わりに、日光と波によってゆっくりと、どんどん小さなかけらに砕けていく。5 ミリより小さいかけらはマイクロプラスチックと呼ばれ、いったん海中に広がってしまうと、**きれいに取り除く**のはほぼ不可能だ。

3 **特に**苦しんでいるのは海の生き物だ。ウミガメは、漂うポリ袋がクラゲによく似ているため、それを**誤って**飲み込んでしまうことがある。海鳥はプラスチックのかけらをひなに与えてしまう。科学者は人間のことも**心配している**。私たちが食べる魚や貝の体内からマイクロプラスチックが見つかっているからだ。それが人の健康に**害を与える**かどうかは、まだ研究が続いている。

4 なぜ問題はこれほど大きくなったのだろうか。理由の一つは、いったん捨てたものは**目に見えなくなり**、だから簡単に忘れられてしまうことだ。たいていの人は冷たいわけではない。自分のごみがどこへ行き着くのかに、ただ**無関心な**だけなのだ。

5 しかし、変化は起こせる。日本では 2020 年に、店にレジ袋の有料化を義務づける決まりが**施行され**、今では多くの買い物客が自分の袋を持ち歩いている。多くの町でボランティアが浜辺の清掃に**取りかかり**、石油の代わりに、トウモロコシ**のような**植物から作った素材を使う企業も出てきた。一人一人がプラスチックを他のごみ**から分けて**、より多くをリサイクルできるようにすることができる。**たとえ**一人の行動は小さく見えて**も**、何百万もの小さな行動が合わされば、海をきれいにすることができるのだ。

要旨 分解されないプラスチックは海で細かく砕け、生き物を苦しめている。見えないごみへの無関心が原因の一つだが、レジ袋有料化や分別など、小さな行動の積み重ねで海を守ることができる。

解答・解説 ANSWERS

問1 2 **問2 3** **問3 4**

問1 正解 2 根拠は第 3 段落 Sea turtles sometimes swallow plastic bags by mistake, because a floating bag looks very much like a jellyfish。漂うポリ袋がクラゲにそっくりなので誤って飲み込む、とあり 2 が正解。1 の匂い、3 の「海の食べ物がなくなった」、4 の「柔らかくて食べやすい」は、どれも本文に書かれていない。because 以下が理由を直接述べているので、理由を問う設問では because・since・so を目印に根拠を探すとよい。

問2 正解 3 根拠は第 4 段落 once we throw something away, it is out of sight ... they simply are indifferent to where their garbage ends up。捨てたものは見えなくなり、人々は行き先に無関心なだけだ、とあるので 3 が正解。1 は Most people are not cruel と述べており「わざと捨てている」とは言っていない。2 の値段の上昇、4 のリサイクル技術が未発明という話は本文にない。第 5 段落ではリサイクルが前提になっているので 4 は明らかに誤り。

問3 正解 4 本文と一致しないものを選ぶ問題。第 3 段落 Whether they do damage to human health is still being studied（人の健康に害を与えるかはまだ研究中）とあるので、「すでに証明されている」とする 4 が不一致で正解。1 は第 2 段落 Pieces smaller than five millimeters are called microplastics、2 は第 3 段落 microplastics have been found inside the fish and shellfish we eat、3 は第 5 段落 a rule ... came into effect in 2020 とそれぞれ一致する。